

【棚割編集画面ステータスバーのボタンメニュー】

ゴンドラ本数が多い棚割の場合に、棚割全体が見渡せません。
小さな商品がよく見えません。
モデル編集領域が狭く、商品配置の編集作業がしにくいのですが...

棚割編集画面の表示状態は、ステータスバーにあるボタンメニューで調整することができます。
ステータスバーのボタンメニューを操作することにより、棚割編集画面の表示を拡大・縮小したり、作業スペースを非表示にしたりすることができ、より編集しやすい状態に調整することが可能です。
ここでは、ステータスバーのボタンメニューの機能について説明します。

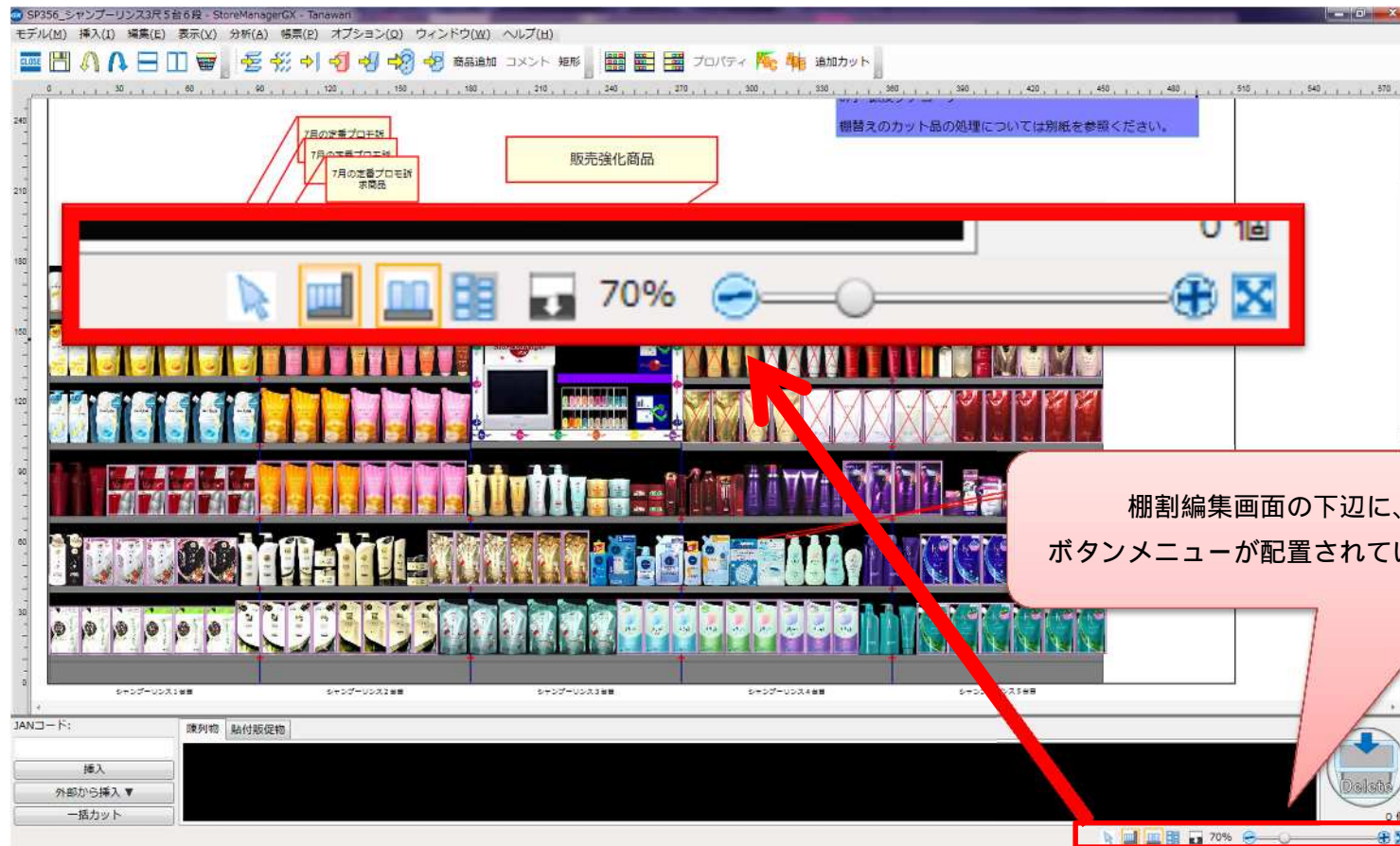
キーワード：ズームスライダー、作業スペース、選択モード切替、視点切替、奥行数切替
登録日：2019/1/1

目次

1. ステータスバーのボタンメニュー	2
2. モデル全体を見渡す	3
3. 編集画面を拡大・縮小する	4
4. 作業スペースを表示・非表示する	5
5. 商品を指定選択する	6
6. ゴンドラの視点を切り替える.....	7
7. 商品の奥行数設定を切り替える	13

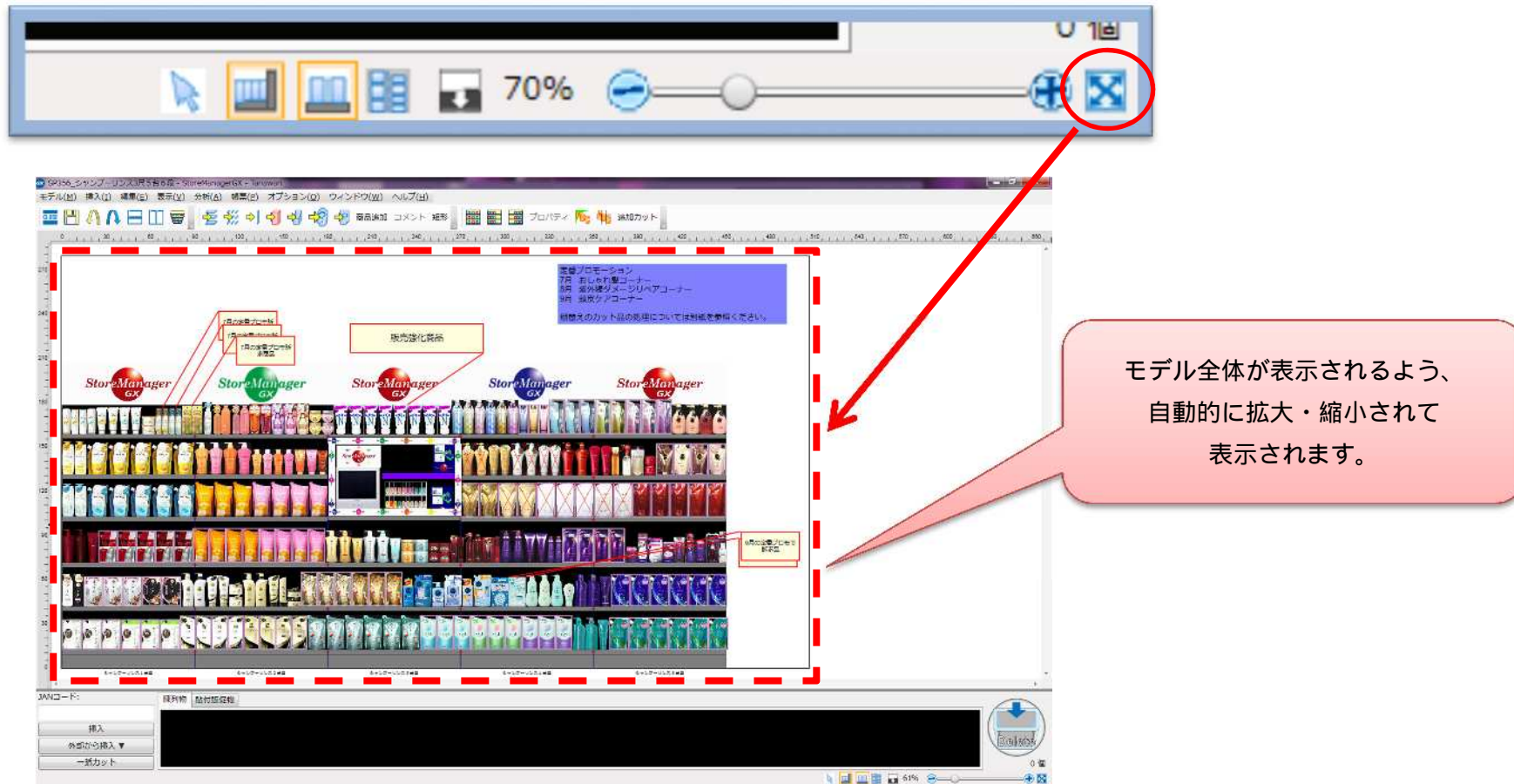
1. ステータスバーのボタンメニュー

(1) 棚割編集画面では、ステータスバーにボタンメニューが配置されています。



2. モデル全体を見渡す

(1) [全体表示]ボタンをクリックすると、モデル全体が表示されるように画面のズームが調節されます。



The image shows a software interface for 'Store Manager GX'. At the top, there is a toolbar with various icons, including a zoom control bar set to 70%. A red circle highlights the zoom control bar, and a red arrow points from it to a red dashed box that encloses the main product display area. This area shows a detailed view of a store shelf stocked with various products, with several 'Store Manager GX' logos visible. A callout box on the right side of the image contains the following text:

モデル全体が表示されるよう、自動的に拡大・縮小されて表示されます。

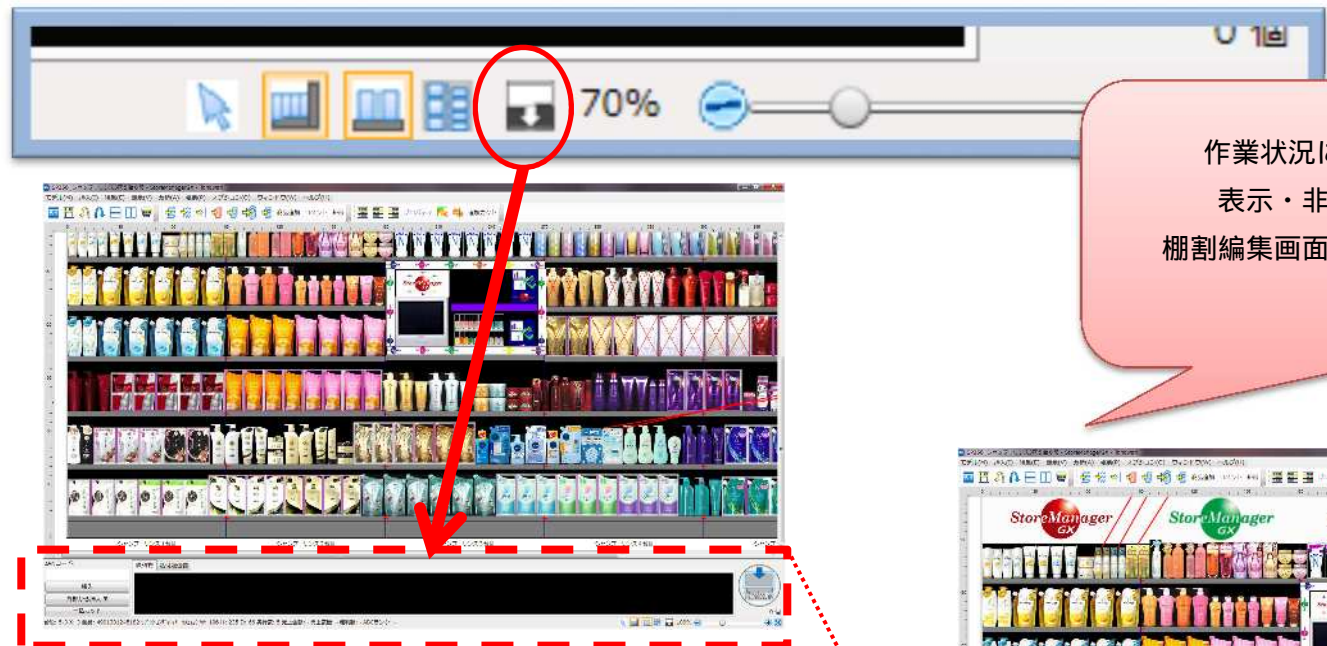
3. 編集画面を拡大・縮小する

- (1) ズームスライダーを右にスライドすると、編集画面が拡大表示されます。左にスライドすると縮小表示されます。
また、[+]ボタンで拡大表示、[-]ボタンで縮小表示されます。



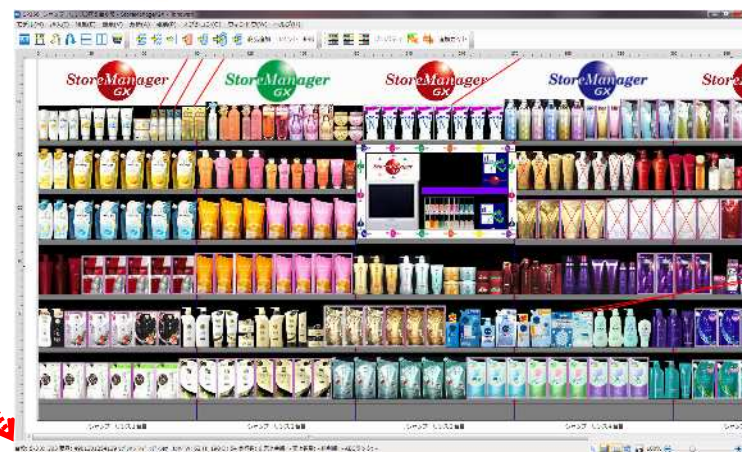
4. 作業スペースを表示・非表示する

(1) 作業スペースの表示・非表示を切り替えます。例えば、陳列終了後は作業スペースを非表示にすると、棚割編集画面の表示領域を広く使用することができます。



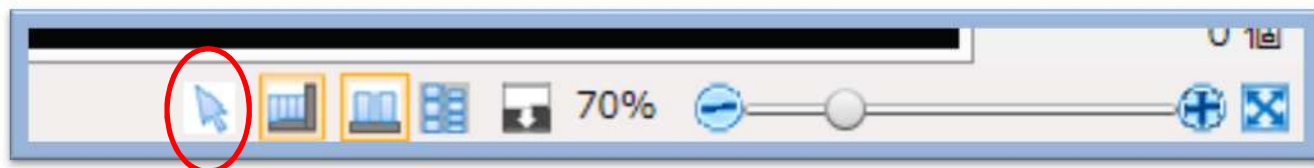
作業状況に応じて作業スペースの表示・非表示を切り替えると、棚割編集画面を広く使用することができます。

作業スペースの表示・非表示を切り替えます



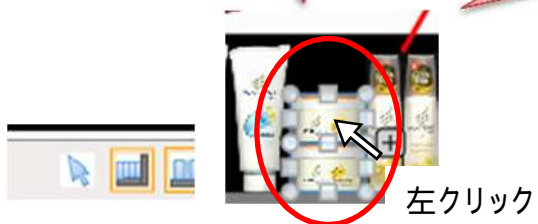
5. 商品を指定選択する

(1) 商品の選択モードには、「通常選択」と「指定選択」があります。選択モードは[選択モード切替]ボタンで切り替えることができます。



「通常選択」では、
積上げた商品もまとめて
選択されます

初期状態は
こちらです。



< 「通常選択」モード >
左クリック1度で、積上げた商品が
上下とも選択されます

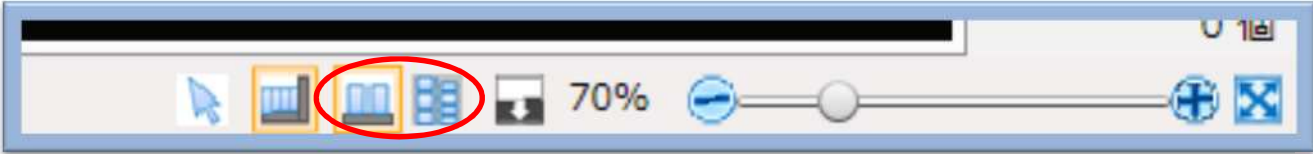
「指定選択」では、
積上げた商品で
クリックしたものが
選択できます



< 「指定選択」モード >
左クリックすると、積上げた商品の中でもクリックした
商品だけ(ここでは上だけ)が選択されます

6. ゴンドラの視点を切り替える

(1) ゴンドラの表示を正面表示 / 上面表示と切り替えることができます。



「正面表示」では、
ゴンドラを正面から見た状態で
表示されます

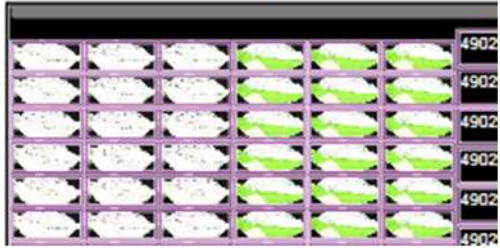
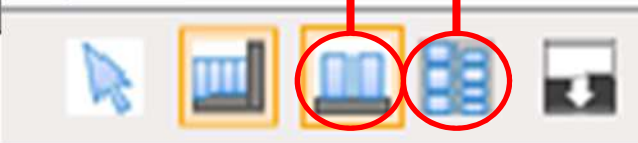
初期状態は
こちらです。

「上面表示」では、
ゴンドラを上面から見た状態で
表示されます



シャブーリンズ1台目

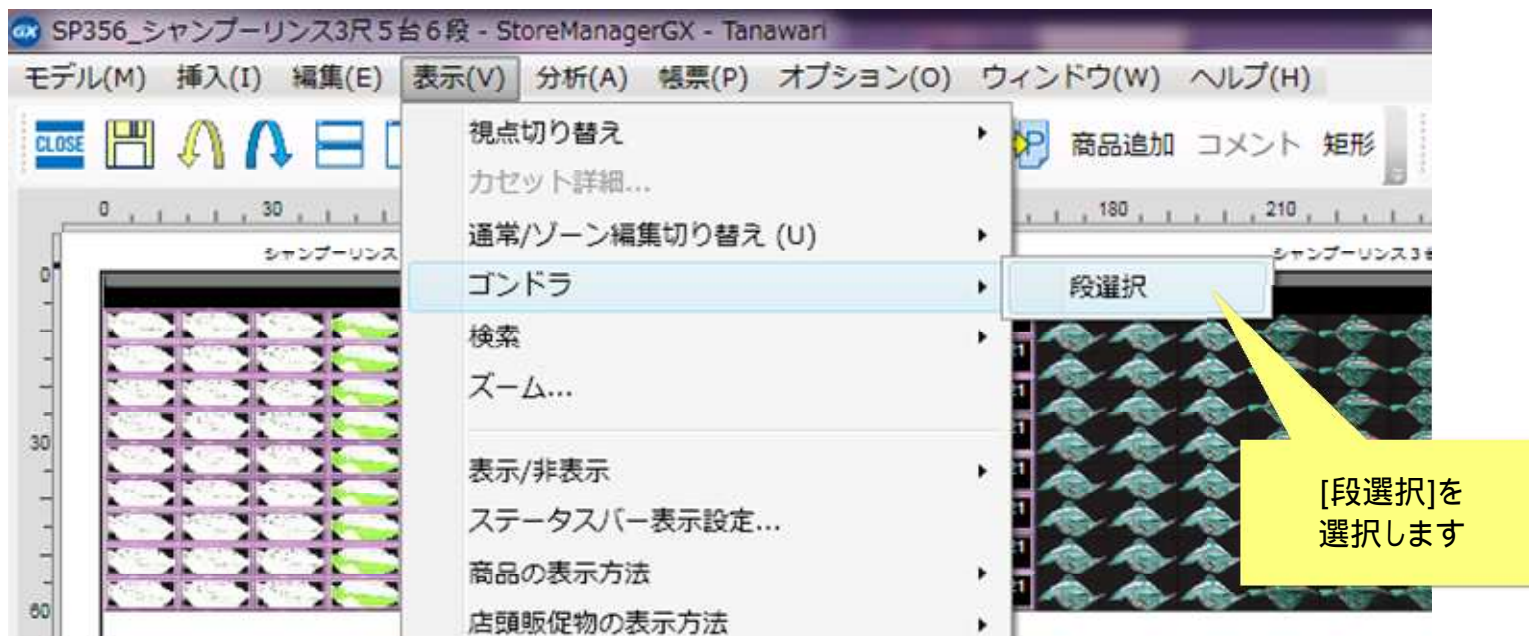
< 「正面表示」モード >



シャブーリンズ1台目

< 「上面表示」モード >

(2) 上面表示を行うと、初期表示は「1 段目」を上面から見た状態となります。別の段を上面表示で確認する場合には、メニュー[表示]-[ゴンドラ]-[段選択]を選択します。



(3) [段選択画面]が表示されます。

段選択

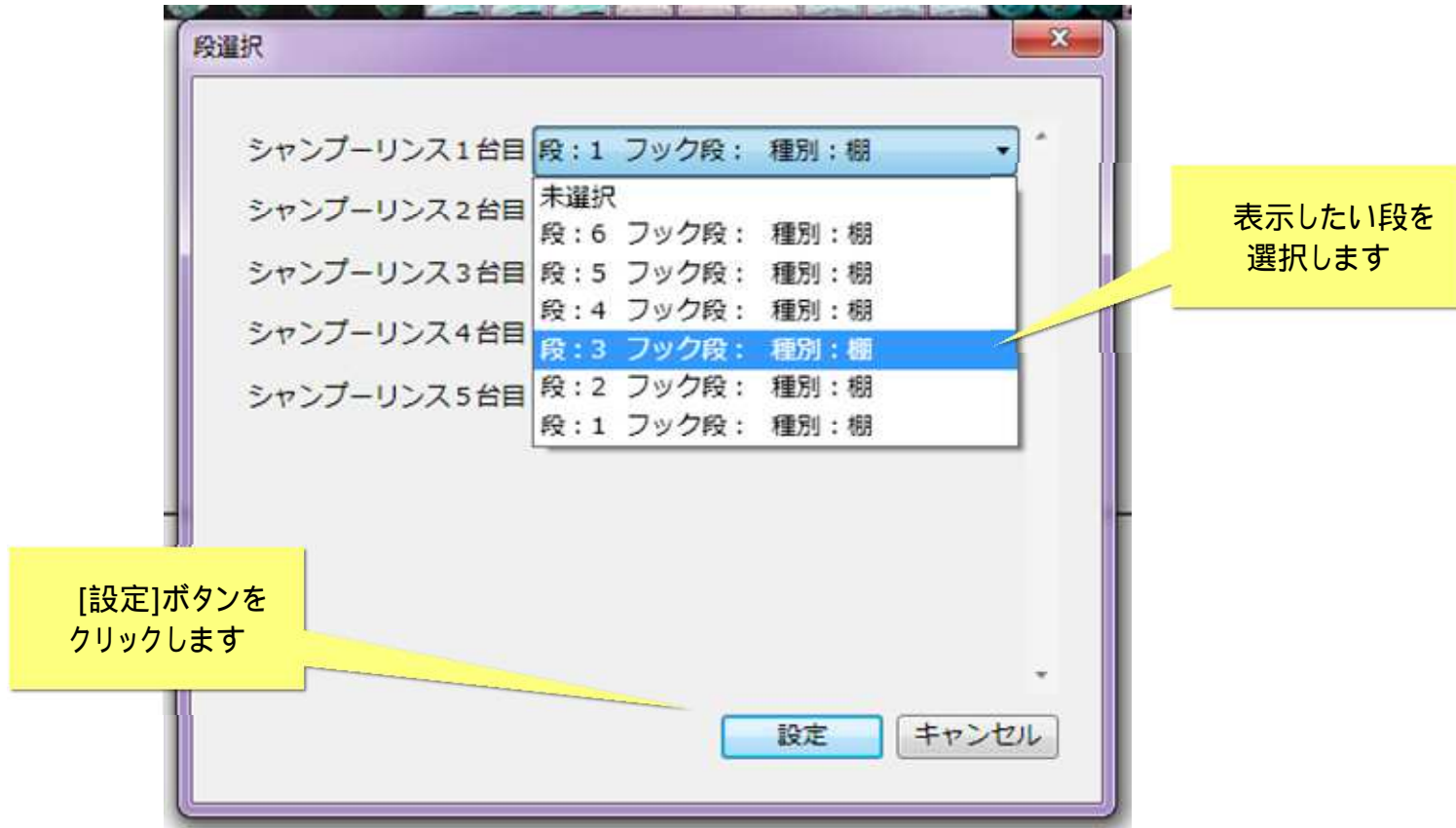
シャンプーリンス1台目	段: 1 フック段: 種別: 棚
シャンプーリンス2台目	段: 1 フック段: 種別: 棚
シャンプーリンス3台目	段: 1 フック段: 種別: 棚
シャンプーリンス4台目	段: 1 フック段: 種別: 棚
シャンプーリンス5台目	段: 1 フック段: 種別: 棚

設定 キャンセル

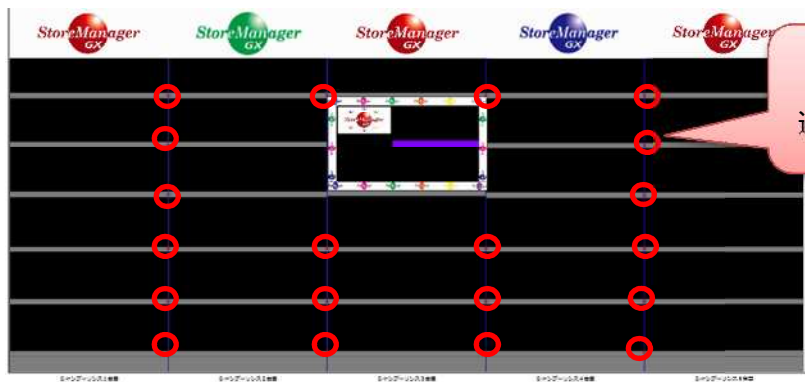
ゴンドラ名称が表示されます。

各ゴンドラの、表示中の段が表示されています。

(4) プルダウンメニューにて、表示したい段を選択し、[設定]ボタンをクリックします。



(5) 連結状態に応じて、[段選択画面]の各 Gondola の表示段が変化します。

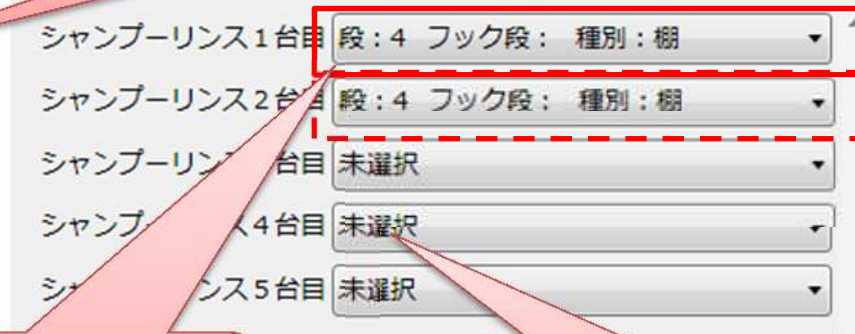


赤丸部分が
連結されている場合…

Gondola 1 台目(シャンプーリンス 1 台目)の
段を選択変更すると、その段に
連結されている他の Gondola の段が
自動的に表示対象となります。



1 台目 3 段目と
連結されている段が
自動的に表示されます



1 台目の段選択を 4 段目に切り替えると、
1 台目 4 段目と連結されている段が
自動的に表示されます

1 台目 4 段目と
連結されていない段は
表示対象となりません

(6) 棚割編集画面で上面表示される段が切り替わります。

シャンプーリンス1台目 段:4 フック段: 種別:棚

シャンプーリンス2台目 段:4 フック段: 種別:棚

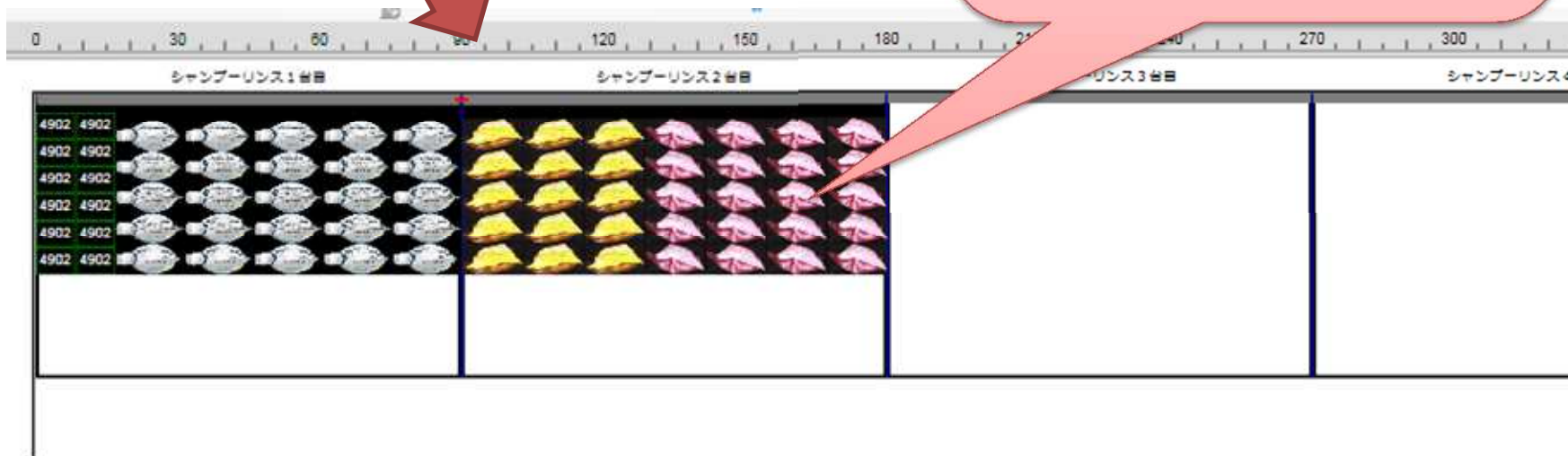
シャンプーリンス3台目 未選択

シャンプーリンス4台目 未選択

シャンプーリンス5台目 未選択



上面表示のまま編集することができます。



7. 商品の奥行数設定を切り替える

(1) 作業スペースから商品を棚・フックに陳列したときに設定される、商品の奥行数を切り替えることができます（「1にする / 自動的に最大にする」のいずれかを設定できます）。

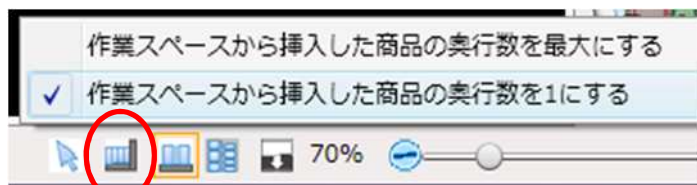
「自動的に最大にする」の場合：商品を陳列すると商品の奥行数が自動的に「最大」と設定されます。

The image shows a software interface for product placement. At the top, a toolbar contains several icons, with the first icon (a shelf) circled in red. A dropdown menu is open, showing two options: "作業スペースから挿入した商品の奥行数を最大にする" (checked) and "作業スペースから挿入した商品の奥行数を1にする". A red callout bubble points to the checked option, stating "初期状態はこちらです。" (Initial state is here). Below the toolbar, there are two 3D views of a product display. The left view, labeled "正面表示" (Front view), shows a row of seven detergent packages on a shelf. A red arrow points from a yellow callout bubble "作業スペースから商品を陳列します" (Place products from the workspace) to the packages. The right view, labeled "上面表示" (Top view), shows the same row of packages from above. A red dashed arrow points upwards from the packages, and a red callout bubble explains: "「作業スペースから挿入した商品の奥行数を最大にする」では、商品サイズから陳列可能な最大の奥行数で陳列されます。" (When setting the depth to maximum, the products are displayed at the maximum depth possible based on their size).

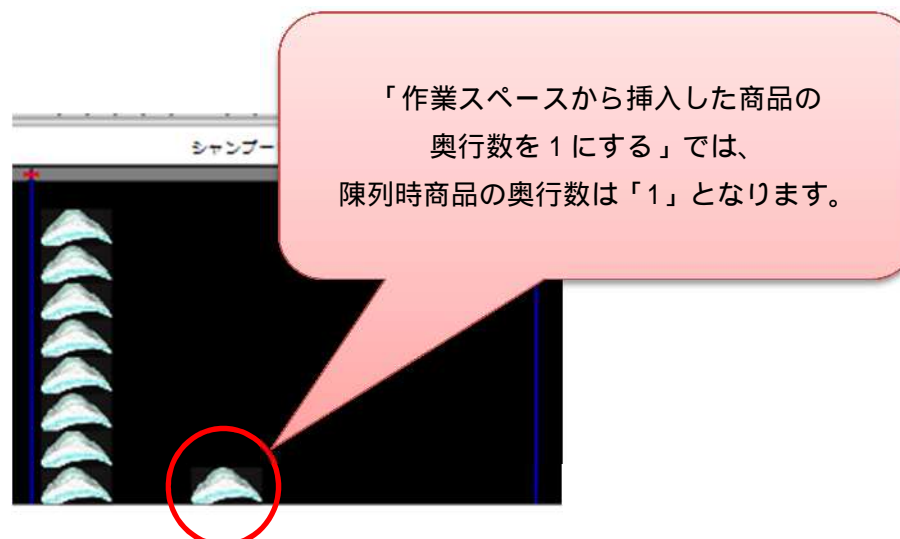
< 「正面表示」の例 >

< 「上面表示」の例 >

(2) 商品の奥行数を「1にする」の場合：商品を陳列すると商品の奥行数は「1」と設定されます。



< 「正面表示」の例 >



< 「上面表示」の例 >

ご 注 意

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに付属するマニュアルおよびヘルプ（以降各マニュアルと表記します）の著作権は、日本総合システム株式会社にあります。

本ソフトウェアおよび各マニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

本ソフトウェアおよび各マニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

本ソフトウェアの仕様および各マニュアルの内容は、将来予告なしに変更することがあります。

*StoreManager*は日本総合システム株式会社の日本における登録商標です。

Tanawariは日本総合システム株式会社の中華人民共和国における登録商標です。

Microsoft, Windows, .NET FrameworkおよびSQL Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Firebirdは、Firebird Foundation Incorporated.の登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Copyright © 2019 日本総合システム株式会社

StoreManagerGX Version6.0 FAQ 簡易操作マニュアル

第1版

発行日 2019年1月

発行者 日本総合システム株式会社